

## 第7回 新県民体育館整備等基本計画検討会 次第

日時：令和8年3月24日（火）14:30～16:30

場所：高知共済会館3階 大ホール「桜」

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 前回（第6回）の宿題返し

- ・各委員の主な意見と事務局の回答
- ・地下駐車場における防災対策

#### (2) 施設計画（基本要件、機能及び諸要件、モデルプラン）

#### (3) 収支の見通し

#### (4) サウンディング再調査（中間報告）

### 3 報告

#### (1) ちばさんセンター大ホールの集約化のメリット・デメリット

#### (2) 「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップの開催

### 4 その他

#### (1) 次年度の検討会委員について

### 5 閉会

## 第7回 新県民体育館整備等基本計画検討会 委員一覧

(五十音順)

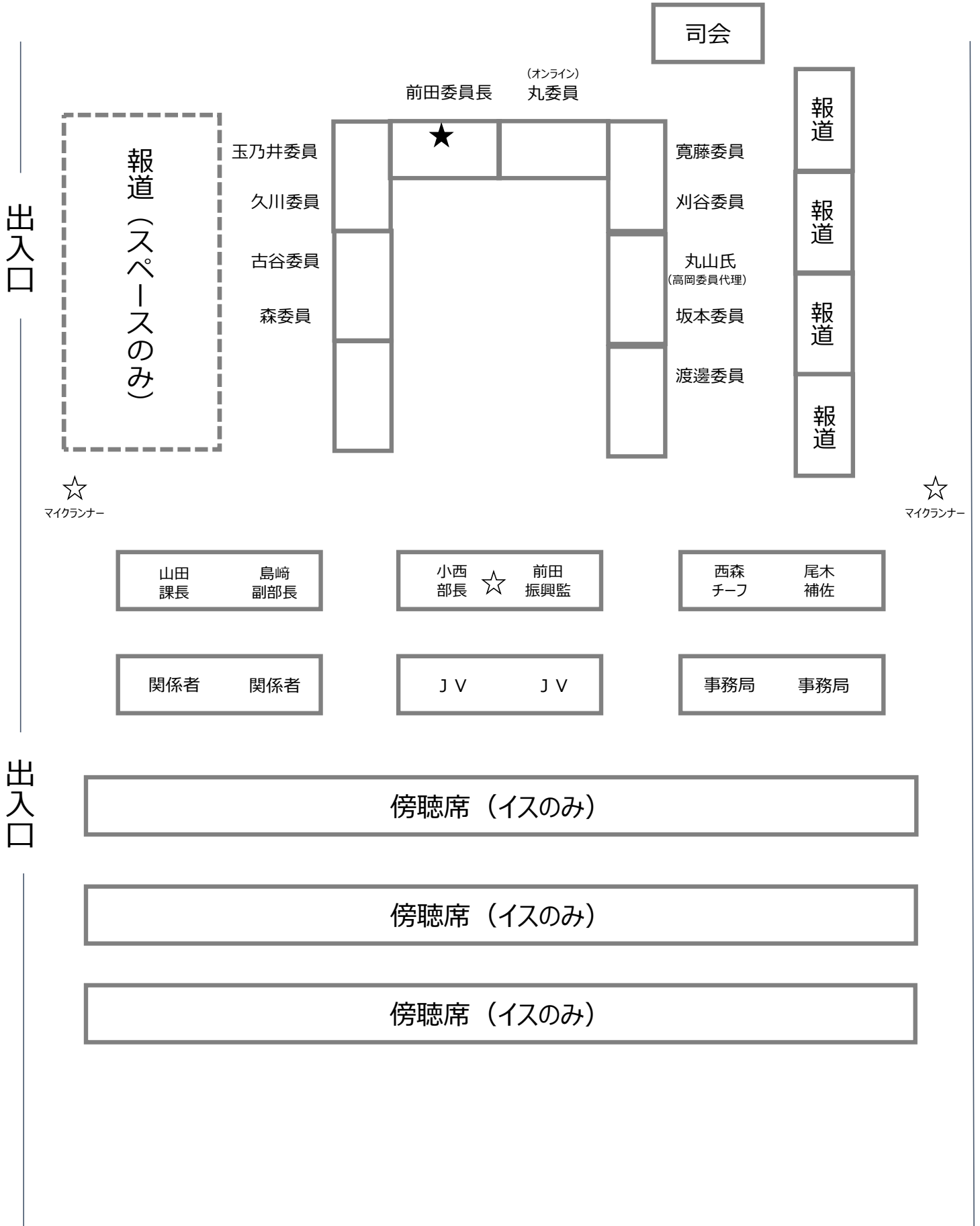
【 委 員 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	刈谷 好孝	公益財団法人高知県スポーツ協会 専務理事	競技スポーツ	○	
2	寛藤 次男	高知県柔道協会 会長	武道	○	
3	坂本 淳	高知大学教育研究部自然科学系理工学部門 講師	防災	○	
4	高岡 幸史	高知市文化観光スポーツ部 部長	自治体 (文化・観光・スポーツ)	○ (代理)	高知市 文化観光スポーツ部 副部長 丸山 貴匠
5	玉乃井 欣樹	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 理事	コンサート	○	
6	久川 俊秀	高知市文化プラザかるぽーと 館長	文化	○	
7	古谷 純代	高知商工会議所 副会頭	商工	○	
8	前田 和範	高知工科大学経済・マネジメント学群 講師	スポーツマネジメント (アリーナ、Bリーグ)	○	
9	丸 朋子	大阪成蹊大学経営学部スポーツマネジメント学科 講師	スポーツビジネス・産業 (エンターテインメント)	○	オンライン参加
10	森 恒一郎	土佐経済同友会 観光推進委員会委員長	観光	○	
11	渡邊 英孝	高知県立障害者スポーツセンター 所長	障害者スポーツ	○	

【 アドバイザー 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	原田 宗彦	学校法人浪商学園 理事・大阪体育大学学事顧問	スポーツマネジメント	×	

【 オブザーバー 】					
NO.	氏名	所属・役職	分野	出欠	備考
1	土居 秀臣	公益財団法人高知県産業振興センター 理事長	産業振興	○	

# 第7回 新県民体育館整備等基本計画検討会

## 配席図



★ …マイク (有線)

☆ …マイク (ワイヤレス)

「第6回新県民体育館整備等基本計画検討会」における主な意見と事務局の回答

No.	項目	委員等からの意見	事務局の回答
1	施設計画	資料5のその他に <b>アスパルこちらの生徒に対する文言の修正提案</b> をしたい。例えば「隣接する高知市教育施設の教育活動や一般市民に対する文化的サービスに配慮した計画とする。」という表現へ変更をお願いしたい。 <b>防災</b> については少し強調した表現で頭出しをしていただき、防災面に特化した施設計画を基本要件に盛り込んでいただきたい。	【資料3】の施設計画のとおり、記載の追加・変更を行う。
2	施設計画 (高知県らしさ)	メインアリーナは新たに器具庫や諸室を整備したときに、フロア面積が小さくならないよう、競技に支障が出ないような安全面に配慮した計画が必要。 <b>高知県らしい建物を目指して</b> 、武道館なら武道館らしい入り口にするなど、来場者にわかりやすいような計画を。	メインアリーナのフロア面積は現在の県民体育館の主競技場よりも大きい計画としている。 <b>来場者が高知県らしさを感じられるよう</b> 、例えば内装の木質化で高知県産木材を使用したり、壁の一部に土佐漆喰を使用したりといった高知県ならではの要素を盛り込みたいと考えている。
3	施設計画 (県産材の使用)	<b>木を多く使った建物を検討</b> いただきたい。万博でも高知県の木材が話題になり、観光戦略だけでなく、いろんな場面で林業は焦点に当たり、隣接する教育施設との関係もあり、うまくいけば「全国初の木造アリーナ」等になり得る。木を大事にしていることがイメージとして伝わり、中心街から新県民体育館までの動線上に、日本初の木造アーケードである「はりまや橋商店街」があり、高知といえば木材というイメージがすり込まれ、まちづくりとして面白いのでは。	県土に占める森林率日本一である高知県の強みをPRする意味でも、 <b>施設の建材に高知県産の木材を使用することは大変意義深いもの</b> と考えている。例えばエントランスや待合ロビーなどに高知県産木材をふんだんに使用し、それをPRするコーナーを設けたり、説明書きの掲示をするなど、 <b>来場者が高知県らしさを感じられる設えを工夫</b> したい。
4	施設計画 (水回り)	ちばさんセンターのようなMICEを検討していくならば、例えば、 <b>ラウンジはスモールスタートにおいても必要で、水回りは必須</b> 。キッチンの水回りは、後から付け足すと改修費がかなりかかる。最初から水回りを設定したほうが、誘致の観点でも選ばれる。	会食などのMICEに対応できる水回りがどうあるべきか、 <b>利用団体等の意見を踏まえて導入を検討する</b> 。
5	施設計画 (天井部分・控室)	ハードの整備について、天井の吊り荷重や天井高は先に設計に入れておくことが重要。また、器具庫に加えて控室の記載をお願いしたい。コンサートツアーの場合、出演者とスタッフで300～400名になる。大相撲の巡業においても300名の力士とスタッフという規模。 <b>イベント時を想定した控室や会議室の導入もしっかり設計に反映を</b> 。	天井吊り荷重や天井高は将来的に <b>センターハングビジョンを吊り下げることができる設計を想定</b> している。控室については、【資料3】の施設計画のとおり、記載の追加を行う。なお、300人程のスタッフがいるような大規模イベントは、メイン・サブアリーナセットで貸出を行っていくことも考えられる。
6	施設計画 (防音等)	防音、防振、耐荷重等は要求水準の段階で明確にした上で基本設計に取り組んでほしい。 また、防災に関して、防災備蓄を確保する場所を一時的ではなく、最初から常備しておくという考え方は持っていただきたいし、アピールできるポイントでもある。	いただいた意見を設計に反映していく。
7	施設計画 (多目的室)	メインやサブアリーナにも <b>多目的な更衣室</b> があった方がいい。動線においてはフラットで障害者の方も過ごしやすいように配慮いただきたい。 最近ではカムダウンスペース（発達障害や感覚過敏を持つ方が、音・光・視線などの刺激を遮断し、パニック時やストレス時に落ち着きを取り戻すための専用休憩所）が設置されており、発達障害、自閉症の方が落ち着くスペースがあれば良い。会議室が使えればそれで良いと思うが配慮いただけると使いやすい。	No.1同様。諸室等については、利用団体に実施したアンケートやヒアリング内容において必要な規模や機能を整理し設計に反映していく。
8	施設計画 (武道場)	武道場が3面となっているが、四国大会以上になると4面必要。その場合サブアリーナも利用することとなるが、柔道の場合は畳が必要で、常設する畳と追加で必要な計4面分の畳と収納スペースをお願いしたい。	試合場としては3面を想定している。四国大会等で4面以上が必要な場合はサブアリーナで開催し、武道場は練習会場になるなど、2箇所同時に使用できることも集約化のメリットであり、 <b>4面分の畳と収納スペースを確保する</b> 。
9	施設計画 (武道場)	特に大きい武道大会ではウォーミングアップ場が必要。現在の武道館は、1階に柔道場と剣道場が1面ずつある。柔道場と剣道場は平日の夜間には何かしらの団体が使っており、配慮をお願いする。今まで使用していた団体が、建替後使用できなくなるとなった場合は、逆行してしまう。	ウォーミングアップ場については、【資料3】の施設計画のとおり、記載の追加を行う。ウォーミングアップ場として活用できる諸室を整備し、マルチに使えるスペースという要件で設計に反映可能と考えている。また、南中高跡地の体育館も武道等の日常使いに使用できるように準備をしている。
10	施設計画 (駐車場)	駐車場について、社会体育施設の利用者に対し一定時間無料にすることはあっても、興行や見るスポーツの時に全面無料にすると、稼ぐどころかマイナスになる一方だと思う。今はどこの施設でも駐車場は有料になりつつある。当然ながら、運営には人手もかかり、電気代などの維持費や改修費がかかるので、稼ぐことを考えると、 <b>有料駐車場にしていくことは重要</b> 。	駐車場は、一定時間の利用に対しては無料としつつ、原則有料化の方向で考えている。適切な受益者負担の観点から、 <b>駐車場の維持管理に係る経費に駐車場の利用料金収入をあてることなども検討する</b> 。
11	施設計画 (駐車場)	地下駐車場を整備した場合、浸水からの復旧時間はどのくらいかかるのか。過去の災害ではあつという間に浸水し、地下駐車場となると同様のことが懸念される。	復旧時間は様々な不確定要素（ポンプの排水能力、ポンプ車の台数など）があるため試算が困難であるが、他県の事例を参考にすると、500台収容の2層の地下駐車場で4～5日ほどかかっているため、仮に1層で約250台とすると、排水で少なくとも2～3日かかると推察。そこから汚泥の除去や設備点検、車の搬出等の作業が想定される。
12	施設計画 (駐車場)	地下駐車場を整備する場合、 <b>個人の資産をどう守るか</b> という問題がある。個人の資産を守るため災害が多い時期や災害が発生しそうな場合、地下駐車場に入らないようにするとか、そういった対応も必要ではないか。空振りや不便は当然出てくるが、地下駐車場を空にすることによって、個人の資産を守り訴訟問題を避けることができるので、運営等にそういう考え方があっていいと思う。	大雨や洪水等のある程度事前に予測可能な災害に対し未然に被害を防ぐ目的で、地下駐車場を使用しないよう運用することは選択肢として考えられる。一方で、地震や津波等の事前予測が難しい災害については、 <b>人命を守ることを第一に</b> 、津波に耐えられる躯体構造とすることや、利用者が垂直避難できる階段を複数設けること、などの対策を取る。

13	都市計画	<p>現有地は都市機能誘導区域外に位置しており、用途地域に関する制約が大きく、開発の自由度が低いことが課題。一方で、近年は都市再生の取組として、駅前を中心に規制緩和を活用した高層マンションの整備が進んでいる。現有地においても、同様の規制緩和の考え方を導入することで、要求水準を満たすより良い計画の実現が可能となる余地がある。ただし、現有地はステークホルダーが多く、都市計画決定には相応の時間を要することが想定される。そのため、規制緩和による効果が明確に見込まれる場合には、導入を検討する価値がある。</p>	<p>現有地での建築条件については、すでに昨年度から県と市で協議を進めており、具体的には、「用途地域の変更」（第一種住居地域⇒商業地域）もしくは用途地域は現状のまま「建築基準法」の各条文による許可申請のどちらかを予定。いずれにしても、ステークホルダーが多く、完了までに時間を要するので、県民に対し現有地での必要性を丁寧に説明し進めていく。</p>
14	<p>ぢばさんセンター機能の集約化</p>	<p>ぢばさんセンターのホールが集約された場合とされなかった場合のAプランやBプランが必要かと思う。</p>	<p>新県民体育館の整備にあたり、ぢばさんセンターの大ホールで行っているイベント等を開催できる規模や機能を有することを計画している。利用日数のシミュレーションにおいても、現在行われているイベントを開催できる余地はあると見込んでいる。一方で、高知ぢばさんセンター大ホールを閉めるかどうかは、ぢばさんセンター大ホールのあり方検討会で議論されている。今回は【資料6】で、ぢばさんセンター大ホールの集約化等によるメリット・デメリットを説明する。</p>
15	木製フローリングパネル	<p>メインアリーナはコンクリートの床で、ぢばさんセンター大ホールで行っているイベントを開催しつつ、県民のスポーツ利用を行うことは非常に難しい。あなぶきアリーナの例がそうであるが、<u>フローリングパネルの設置や撤去費用、収納する倉庫が必要。ぢばさんセンターのイベントとの折り合いをどのように整理しているのか。</u></p>	<p>あなぶきアリーナでは、木製のフローリングパネルの設置撤去を年間6回まで、あるいは年間10週間を上限に設置する費用を県が負担している。学生の大会など競技大会をしっかりと開催するという狙いがあり、その期間に競技団体が大会の調整をしている。定められた期間においてパネルの設置や撤去費用は指定管理料に含まれており、それ以外の利用となると事業者負担という整理であり、本県でも同様の枠組みを想定する。</p>

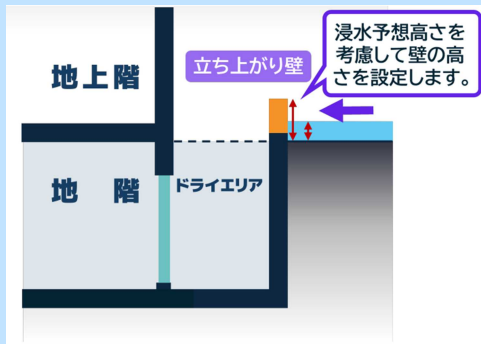
# 地下駐車場の防災対策

- 地下駐車場の整備においては、激甚災害も想定したハード対策とソフト対策を検討します。

## ハード対策

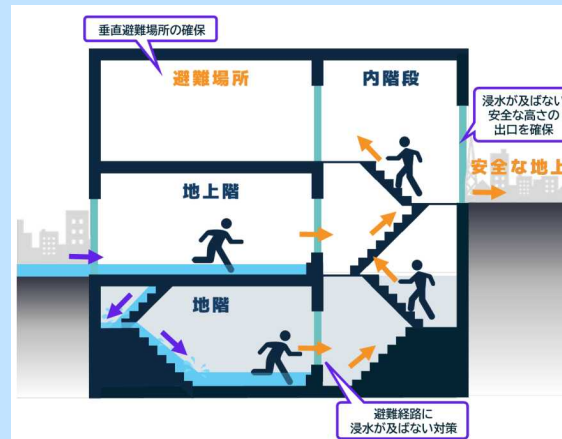
### 内水氾濫等の風水害

- 地下駐車場の出入口に止水板や土嚢等の設置による物理的な浸水対策の導入
- 浸水した場合に早期復旧が可能な排水ポンプ等の設置
- 浸水深の上昇速度を遅らせるための空間確保
- 電気や空調等の各種設備関連の浸水や漏電を防ぐ配置計画



### 津波等の激甚災害

- 地下駐車場からの複数の垂直避難ができるルート確保
- 2階以上は災害時には一時的に避難スペースに転用できる諸室やスペースを確保
- 水圧でドアが開かなくなることを防ぐため、地下駐車場に対して外開きドアとする仕様の採用



## ソフト対策

### すべての災害

- 定期的な避難訓練の実施
- ハザードマップ等の周知（施設内でのデジタルサイネージ等による防災情報の提供、多言語化等）
- 早期情報伝達システム（施設内での警報やサイン標識による誘導等）の導入検討
- 高知県と施設運営者によるリスク分担と役割の明確化



図表の出所 | 東京都地下空間浸水対策ガイドライン（令和7年9月）東京都

高知県が目指す「**スポーツをする施設（社会体育施設）に加えて、アリーナ機能を融合した複合施設**」を実現するにあたり、想定する基本要件、機能及び諸条件を示す。施設全体としては、メインアリーナ、サブアリーナ、武道館、プールの複合施設として整備する。

**（１）基本要件** ※以下に示す基本要件や機能、諸要件は原則として設定するものであり、設計や施工段階で修正の必要が生じた場合は、変更する可能性がある。

施設全体の基本要件は以下とし、次ページ以降の機能及び諸条件を満たす計画とする。

項目	基本要件
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>スポーツをする施設（社会体育施設）に加えて、アリーナ機能を融合した複合施設とする。</b></li> <li>• <b>全国規模の競技大会の開催が可能な計画とする。</b></li> <li>• <b>メインアリーナはBリーグネクスト、Vリーグの施設要綱を満たした計画とする。</b></li> <li>• <b>音楽コンサートや多様なイベント等の興行利用が可能な計画とする。</b></li> <li>• 各種展示会等のMICE（高知ぢばさんセンター大ホールで行っている展示会等を開催できる水準以上）への対応を可能とする。</li> <li>• 多様な利用に即し、設営・撤去がしやすい計画とする。</li> <li>• <b>将来のVIP席の整備等の増改築や利用ニーズに合わせた施設・設備更新がしやすい計画とする。</b></li> <li>• 来館者が屋外でくつろぐことができ、イベント時などはキッチンカーを置くことができる「憩いの場」を設ける。</li> </ul>
施設規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>延床面積17,000～最大19,000 m<sup>2</sup>とする。</b>（ピロティ及び地下駐車場の面積を除く。）</li> <li>• 興行日だけでなく、非興行日の多様な施設利用者による来場者混雑の緩和を考慮した施設計画とする。</li> <li>• 駐車台数は250台以上を整備する。</li> </ul>
環境性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アリーナ整備による敷地周辺への日照、日影、騒音、車交通の安全等の影響に配慮した計画とする。</li> <li>• <b>建材の一部に高知県産の木材を使用するとともに、省エネ性能を高め、環境に配慮した整備を行う。</b></li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>隣接する高知市教育施設（アスパルこうち及び潮江市民図書館）の教育活動や一般市民に対する文化的サービスに配慮した計画とする。</b></li> <li>• <b>防災対策として、施設利用者や地域住民が避難する「指定緊急避難場所」と「指定一般避難所」に対応する計画とする。</b></li> <li>• <b>メインアリーナの興行日においても、サブアリーナやプール、武道場等は一般利用者が利用できるゾーニングや動線計画とする。</b></li> <li>• コンコースや後部座席背後の通路の幅を広くとり、屋内ランニングコースや幅広い通路を活かした興行時の仮設売店スペースや非常時における一時避難用の滞留スペース等、多様な利用が可能な空間とする。</li> <li>• ユニバーサルデザイン及び安全性、快適性、環境へ配慮した計画とする。</li> </ul>

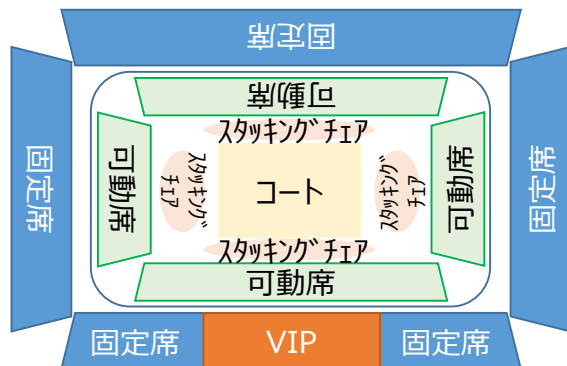
# 施設計画

## (1) 基本要件

スポーツ興行時の座席数は、5,000席以上とする。

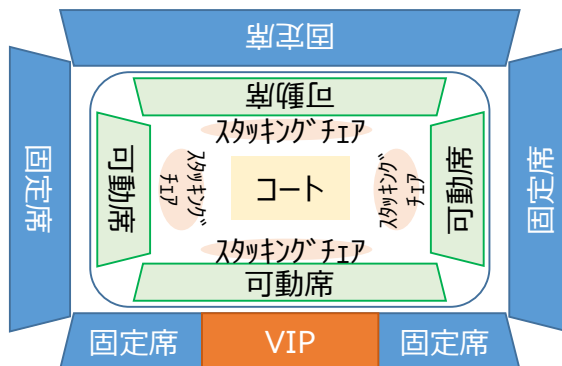
音楽興行時における座席数は、ステージ形状によって収容形式が変化する可能性があるが、概ね3,500席以上とする。

Bリーグ



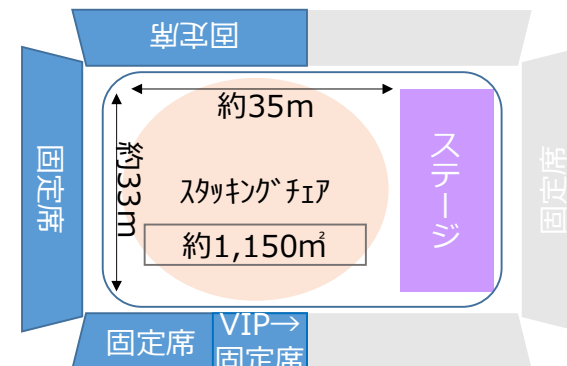
VIP (来賓) 席	: 150 席
固定席	: 2,700 席
可動席★1	: 1,900 席
仮設席	: 200 席
その他★2	: 50 席
<b>合計</b>	<b>: 5,000 席</b>

SVリーグ



VIP (来賓) 席	: 150 席
固定席	: 2,700 席
可動席★1	: 1,900 席
仮設席	: 200 席
その他★2	: 50 席
<b>合計</b>	<b>: 5,000 席</b>

音楽興行時



VIP (来賓) 席	: 50 席★3
固定席	: 1,200 席
可動席★1	: 0 席
仮設席	: 2,300 席★4
その他★2	: 50 席
<b>合計</b>	<b>: 3,600 席</b>

- ★1 可動席とは壁面収納できるロールバックチェア等を想定
- ★2 立見・車いす席、企画席 等
- ★3 各種スポーツ大会等ではVIP席であるが、コンサート時には、固定席の1種として利用。
- ★4 高知市火災予防条例により、0.5㎡/人として整理。

## (2) 機能および諸条件

それぞれの機能に必要な諸室とその概要を整理する。

BリーグネクストやVリーグの各種施設要綱及び関連法規を遵守したうえで、これらの機能を有するアリーナとする。

### 1) 施設機能

主要諸室	項目	内容
①メインアリーナ	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケットコート3面を確保し、全国高等学校総合体育大会等の公式試合が開催できる広さとする。</li> <li>プロバスケットボール（Bリーグネクスト）及びプロバレーボール（Vリーグ）が開催できる広さを計画する。</li> <li>音楽コンサート等の興行（3,500人規模の会場で開催されるツアー等）利用を想定する。</li> <li>音楽コンサート等の興行や、展示会等のMICEにおいて、さまざまなステージ形態への対応を可能とする。</li> </ul>
	床仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート床とし、バスケットボールやバレーボールの試合時には競技に対応した仮設床を設置する。</li> <li>大型トラック（11 t 車）の乗り入れを可能とする。</li> <li>さまざまなイベントや展示会の開催、ステージセットの設置を考慮した床荷重とする。</li> </ul>
	天井吊もの	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターハングビジョンや、音楽興行時にエンドステージ、センターステージ、サイドステージの設置に対応した吊ものを可能な計画とする。</li> <li>イベント設営時に天井面の作業ができるよう、天井部にキャットウォークを整備する。</li> </ul>
	観客席	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロスポーツ興行時は5,000席以上、音楽等の興行時は3,500席以上確保する。</li> <li>将来的に増改築等により、BリーグプレミアやSVリーグの施設要綱を満たせるよう、VIP席やVIPラウンジ等を整備できる余地を考慮した計画にする。</li> <li>車いす対応等のさまざまな観客席を設ける。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>アリーナに直接搬出入するトラック動線や作業ヤードを設ける。</li> <li>イベント設営用の備品やスポーツ用具等を収納する倉庫を計画する。</li> <li>仮設床やアリーナで使用する備品等を収納できるよう、十分な広さの倉庫や器具庫を整備する。</li> <li>イベント時のスタッフや出演者用の控え室となる諸室を設置する。</li> <li>大型トラックがメインアリーナ内に進入できる搬出入口を2か所以上設ける。</li> </ul>

## (2) 機能および諸条件

### 1) 施設機能

主要諸室	項目	内容
②サブアリーナ	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケットコート2面を確保し、全国高等学校総合体育大会等の公式試合が開催できる広さとする。</li> <li>バレーボール利用に支障のない天井高さ13mとする。</li> </ul>
	床仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>フローリングなど、常時スポーツ利用を目的とした床仕様とする。</b></li> <li>イベント時の物販利用などの対応も考慮する。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技大会や一般のスポーツ活動を行う者の利用を中心とする。</li> <li>プロスポーツチームの練習利用や音楽等の興行時の物販エリアとしての利用を考慮する。</li> <li>サブアリーナ利用者が使用するトイレや更衣室等の諸室を設ける。</li> <li>観覧席を<b>500席以上（1,000席程度が理想）</b>（固定席、車いす席を含む）整備する。</li> <li>サブアリーナで使用するスポーツ用具等を収納できる倉庫や器具庫を整備する。</li> <li>武道の大会等で試合場を4面以上使う場合は、サブアリーナで大会を開催することも想定した倉庫を整備する。</li> <li>屋上に人工芝等の運動や活動ができるスペースを整備する（アスパルこうちグラウンドの代替機能）。</li> </ul>

## (2) 機能および諸条件

### 1) 施設機能

主要諸室	項目	内容
③ 武道場	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣道及び柔道の公式試合場を3面設ける広さとする。</li> </ul>
	床仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>フローリングなど、常時スポーツ利用を目的とした床仕様とする。柔道の利用時は畳等を敷設使用することを想定する。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>武道場利用者が使用するトイレや更衣室等の諸室を設ける。</li> <li>柔道利用時の畳等や試合用具等を保管する器具庫を整備する。</li> <li>大会利用も想定し、観覧席（300席以上）、本部席及び審判席のスペースを設ける。</li> <li>武道場利用者がウォーミングアップ場として使用できる諸室を設ける。</li> </ul>
④ プール	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>25m×6～8レーン整備し、そのうち1レーンは障害者利用ができるスロープ入水用として整備する。</li> <li>プールの幅、水深等は現在の県民体育館プールと同程度のものを整備する。</li> <li>プールサイドの幅は、利用者の休憩や通行に支障がない幅を確保する。</li> </ul>
	床仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>床及びプール槽は、適切な機能性（防滑性、耐久性、耐水性、防カビ性、耐衝撃性等）を有し、かつ、メンテナンス性等の経済性にも配慮したものとする。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>プール利用者が使用するトイレや更衣室等の諸室を設ける。</li> <li>更衣室は、障害者と介助者（家族）が一緒に入れる個室も設ける。</li> </ul>

## (2) 機能および諸条件

### 2) 観覧機能 (メインアリーナ)

主要諸室	項目	内容
①一般席	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Bリーグネクスト及びVリーグの各基準を満たし、メディア席を除き、<b>5,000席以上</b>を確保する。</li> <li>• 音楽等の興行時は一般的なステージ形状（センターステージ、エンドステージ等）で、着座で<b>3,500人以上</b>を確保する。</li> <li>• 来場者のニーズに応じた更新がしやすいよう、可変性を持たせた計画とする。</li> <li>• 歩行者が視線障害とならないような通路計画とする。</li> <li>• 車いす対応等のさまざまな観客席を設ける。</li> </ul>
	固定席 可動席	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 固定席を2,700～3,000席程度計画する。</li> <li>• 可動席は、ロールバック方式や可動スタンド方式等を計画する。</li> </ul>
	仮設席 (スタッキングチェア)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スポーツ興行時における仮設席数は、全観覧席数の<b>5%以内</b>とする。</li> <li>• アリーナフロアに設ける。</li> <li>• 音楽興行時には来場者数に応じて仮設席を設ける。</li> </ul>
	車いす席	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロスポーツの興行に必要な座席数を確保する。</li> <li>• 車いす利用者がさまざまな場所からイベントを楽しめるような計画とする。</li> </ul>

## (2) 機能および諸条件

### 3) VIP機能（メインアリーナ）

主要諸室	項目	内容
②VIP席	個室（VIP席） ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的に増改築等により、BリーグプレミアやSVリーグの施設要綱を満たせるよう、VIP席やVIPラウンジ等を整備できるようにする。</li> <li>エレベーターがあらかじめ着床できるようにする等、将来的な増改築により、飲食提供ができるような設えとする。</li> <li>将来的な増改築等により、ラウンジは個室（VIP席）に近接して設けられるようにすること。</li> </ul>
	エントランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来のVIP対応に向けて、あらかじめ、VIP用駐車場、車寄せの位置や歩行者動線を考慮した計画とする。</li> <li>VIP観客動線は、一般観客動線から独立して計画する。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来のVIP対応に向けて、あらかじめ、個室（VIP席）やラウンジ席への飲食提供のためのパントリーを整備できるスペースの確保や外部からの飲食物の搬入を考慮して計画する。</li> <li>ホスピタリティエリアへのサービス提供を行うスタッフ用の控室を適宜設ける。</li> </ul>

## (2) 機能および諸条件

### 4) メディア関連機能

- メディア控室や実況放送室、AV機器の操作室、ミックスゾーンや記者会見室、中継車置場等を設ける。
- 中継車用アンテナ設備を中継車置場の近くに整備する。
- メディアの動線は、観客の動線や選手の動線と確実に分離する。
- スタンド内にメディア席を設ける。メディア席は座席としてカウントしないものとする。

### 5) アリーナ関連設備

- スピーチや司会進行等ができるレベル以上の音響設備を設ける。
- 将来的にBリーグプレミア及びSVリーグの施設要綱を満たせるよう、あらかじめ、アリーナ内にセンターハングビジョンやスピーカー等、試合時の臨場感を演出するような大型映像・音響設備の整備ができる設えとする。
- 高密度Wi-Fi等、観客の通信環境を向上させる設備を導入する。

### 6) 施設管理機能

- 清掃員控え室、警備室、施設スタッフ用更衣室、倉庫等を適宜設ける。

### 7) 防災機能

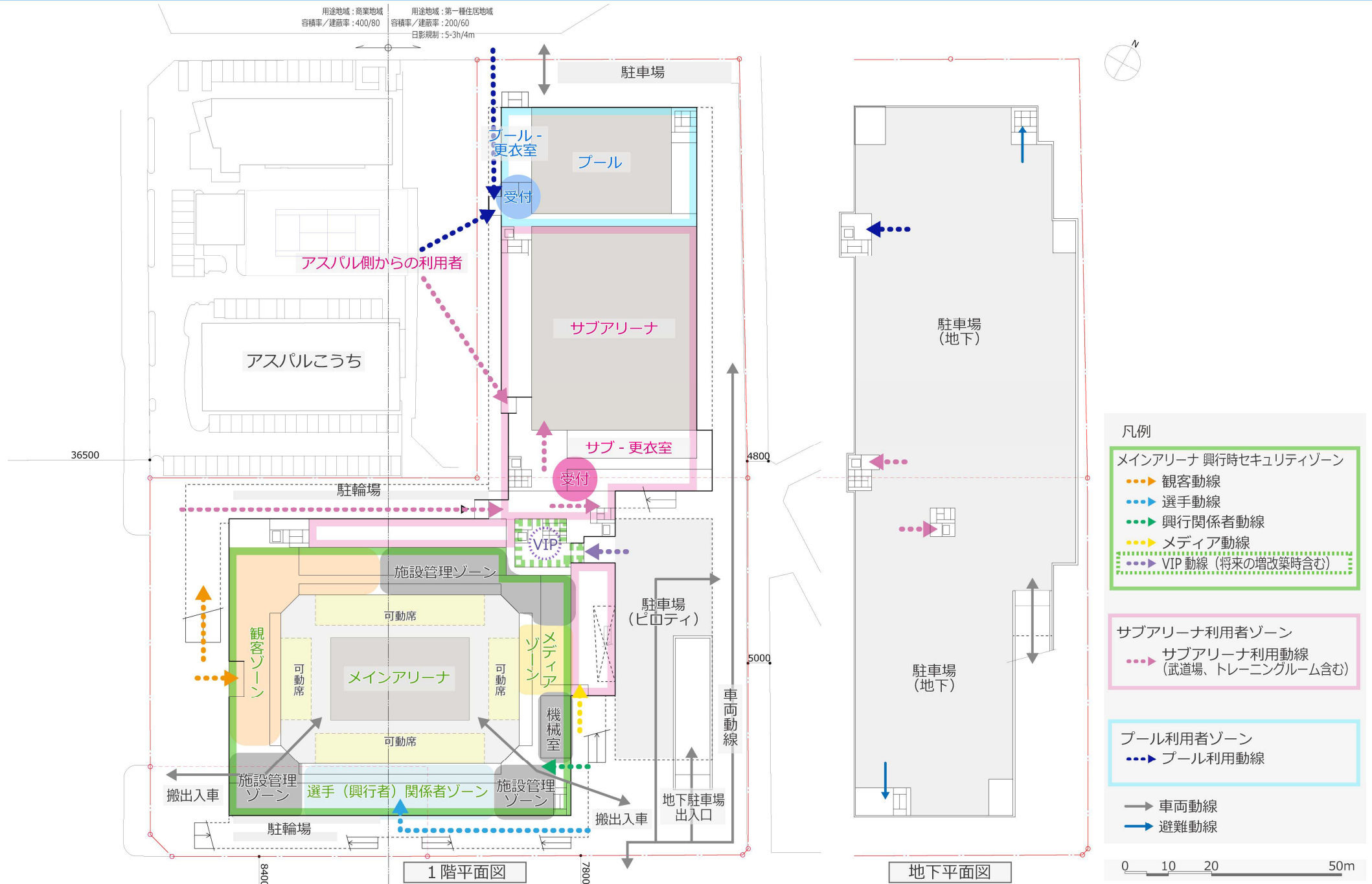
- 施設利用者や地域住民が避難する「指定緊急避難場所」と「指定一般避難所」に対応する計画とする。**(再掲)**
- 「洪水」「土砂災害」「津波」のほか、「内水氾濫」や「高潮」においても、これらのハザードを対象とした緊急避難場所の指定を見据えた規模・構造とする。
- 津波避難ビル指定に際し、第3次高知市備蓄計画に基づく資機材の保管スペースをメインアリーナ等の2階以上に確保する。
- 指定避難所の収容人数及び居住スペースとして可能なエリア・範囲を考慮した設計。
- 収容可能人数に応じた備蓄庫を設ける。
- 電気やガス、通信（Wi-Fi、電話）等のインフラについて耐災害性に配慮する。（例：太陽光発電・蓄電池、空調設備の熱源をプロパンガスや、都市ガスとプロパンガスの併用にするなど）
- 避難所としての良好な生活環境の提供を念頭に、発災後にも活用可能な調理設備や入力設備等の整備を検討する。
- 地下駐車場を整備する場合は、止水板や排水ポンプ設備の設置など適切な浸水対策を講じる計画とする。

# アリーナイメージ (モデルプラン) (B1-1階)

※当該モデルプランは、基本計画で検討・議論している内容が実現可能か検証するための図案であり、施設の平面図等を下記のとおり決めるものではありません。

用途地域：商業地域  
容積率/建蔽率：400/80

用途地域：第一種住居地域  
容積率/建蔽率：200/60  
日影規制：5-3h/4m





利用料金の設定

<試算の考え方及び分析>

・前回の試算における利用料金は、他県の類似のアリーナ15施設における利用料金の平均値を用いていたが、より本県で採用しやすい料金体系の水準を考慮し、**現県民体育館の利用料金をベースに1.5倍又は2倍の水準を想定して2パターンを試算**

・他県のアリーナにおけるプロスポーツや音楽コンサート、MICEの開催における利用料金の平均値は、現在の県民体育館の利用料金の2倍を超える水準

・利用料金の設定にあたっては、アマチュアスポーツなどの競技大会の利用料金を低く抑えつつ、興行やMICEの開催で収益を上げていく方向性で利用料金を設定すべきと考えるが、特にMICEは高知ぢばさんセンター大ホールの利用団体の意向を踏まえた料金設定の検討が必要

<メインアリーナにおける利用料金（全日・一般）>

(単位：円)

利用料金	平日				土日祝日			
	競技大会	プロスポーツ	音楽コンサート	MICE	競技大会	プロスポーツ	音楽コンサート	MICE
現在の県民体育館	27,850	426,360	426,360	274,030	27,850	511,460	511,460	328,930
現在の県民体育館の1.5倍	41,775	639,540	639,540	411,045	41,775	767,190	767,190	493,395
現在の県民体育館の2倍	55,700	852,720	852,720	548,060	55,700	1,022,920	1,022,920	657,860
他県の類似アリーナの平均値	98,000	1,013,000	1,012,000	623,000	119,000	1,188,000	1,199,000	772,000

# 新県民体育館の運営における収支の見通し②

## 利用日数のシミュレーション

メインアリーナとサブアリーナにおける利用目的別の年間シミュレーションは第3回検討会で示していたが、開催日の重複による同日開催が可能かなど、実際の開催日（R7実績）をもとに競技大会やMICEを振り分け、他の日でプロスポーツや音楽コンサートの開催ができる余地があるかを確認。

### ●第3回新県民体育館整備等基本計画検討会で示した利用日数シミュレーション（充実期）

	メインアリーナ						サブアリーナ					
	競技大会	プロスポーツ	音楽コンサート	MICE	その他	合計	競技大会	プロスポーツ	音楽コンサート	MICE	その他	合計
合計	45	66	24	64	15	214	71	15	6	55	48	195
うち平日	9	34	16	38	0	97	15	0	4	31	28	78
うち休日	36	32	8	26	15	117	56	15	2	24	20	117

### ●年間カレンダーで各催しの重複を踏まえた利用日数シミュレーション(R7年度ベース)

※①→⑤の順番で年間カレンダーに開催日を設定

#### 競技大会

①現在の県民体育館で行っている競技大会（R7）を、原則サブアリーナで開催すると想定。  
ただし、高校総体県予選や中学総体県予選はメイン・サブ両方で開催を想定。  
また、県立武道館で開催している大会で4面が必要なもの（柔道など）はサブアリーナの使用を想定。

#### 展示会などのMICE

②高知ぢばさんセンター大ホールで行っている展示会等（R7）を、規模によってメインアリーナとサブアリーナでの開催に振り分け。

#### プロスポーツ

③B.NEXTのホームゲーム26試合を全てホームアリーナとして使う場合を想定（オンシーズンは10月～5月）。  
土日を中心に、平日も開催。  
④SV・Vリーグのプレシーズンマッチ4試合を8月と9月の土日に開催。（リーグのオンシーズンは10月～4月）

#### 音楽コンサート

⑤音楽コンサートは年間8公演を想定。

	メインアリーナ						サブアリーナ					
	競技大会	プロスポーツ	音楽コンサート	MICE	その他	合計	競技大会	プロスポーツ	音楽コンサート	MICE	その他	合計
合計	11	68	23	59	12	173	118	8	22	11	33	192
うち平日	2	39	20	39	6	106	25	7	20	11	23	86
うち休日	9	29	3	20	6	67	93	1	2	0	10	106
本番日合計	11	30	8	37	12	98						
うち平日	2	8	6	23	6	45						
うち休日	9	22	2	14	6	53						
準備日合計	0	38	15	22	0	75						
うち平日	0	31	14	16	0	61						
うち休日	0	7	1	6	0	14						

#### <見えてきた傾向や課題、対策>

- ・競技大会の開催は土日祝日が多く、MICEの開催は平日が多いため、開催日の重複は少ない。  
また、小～中規模のMICEと競技大会の同日開催は可能と見込まれる。
- ・プロスポーツの試合を土日祝日に開催しようとする、競技大会と重複し同日開催となる日が多くなる。  
⇒サブアリーナで競技大会が開催できることを優先しつつ、プロスポーツの試合は平日開催か、土日の夕方以降の試合開始とすれば同日開催が可能と見込まれる。
- ・メインアリーナの稼働率をどう上げていくか。  
⇒官民連携でプロスポーツやMICEの誘致を進めていく必要（R8年度に誘致の専門部会を設置予定）  
⇒メインアリーナを分割して利用する運用を検討（半面の木製パネル設置、暗幕カーテンの設置など）

# 新県民体育館の運営における収支の見直し③

令和7年12月の第4回基本計画検討会において示した収支の見直しについて、専門家や利用団体等の意見を踏まえ、試算を見直し、サウンディング調査などに活用する。

<試算の考え方>

**○収入**

- ・貸館収入は、プロスポーツ、音楽コンサート、MICE、競技大会などの年間利用日数に、現県民体育館の利用料金をベースに1.5倍又は2倍の水準を想定し算出。利用料金は、平日・土日祝日、アマチュア・アマチュア以外、入場料の徴収あり・なしによって区分して設定
- ・貸館以外収入は、備品貸出、ネーミングライツ、広告掲出料、物販飲食、駐車場収入などが考えられ、他のアリーナの事例や本県の状況を踏まえ試算
- ・「するスポーツ中心」時期は県内にプロスポーツチームがない時期、「する+みるスポーツ」時期は県内にプロスポーツチームが誕生し、新県民体育館をホームアリーナとして試合を開催している時期を想定

**○支出**

- ・現在の県民体育館の運営にかかる支出実績を踏まえ、延床面積比較による支出の増を見込んだ試算

<前回から見直した点>

**○収入**

- ・前回の試算における利用料金は、他県の類似のアリーナ15施設における利用料金の平均値を用いていたが、より本県で採用しやすい料金体系の水準を踏まえ、**現県民体育館の利用料金をベースに1.5倍又は2倍の水準を想定して2パターンを試算**

- ・プロスポーツチームが誕生していない「するスポーツ中心」時期ではVIPラウンジ収入を見込まないこととした

**○支出**

- ・前回の試算では、他県の類似のアリーナ16施設の支出実績を踏まえ、延床面積1㎡あたりの運営単価を算出し、その単価を本県の新県民体育館の延床面積17,500㎡に掛けて試算していたが、**現在の県民体育館の運営実績をベースに、延床面積比較による支出の増を見込んだ試算**とした

- ・「するスポーツ中心」時期の支出に比べ、「する+みるスポーツ」時期の支出を人件費や物価高騰の一定の伸びを反映

<パターン①利用料金を現県民体育館の利用料金の**2倍**とした場合>

(単位：千円/年)

収入費目	「するスポーツ中心」 時期	「する+みるスポーツ」 時期	備考
貸館収入	76,922	115,898	
メインアリーナ（興行）	39,249	82,013	プロスポーツ、音楽コンサート、MICE
メインアリーナ（県民利用）	15,429	11,641	競技大会、文化系イベント
サブアリーナ	9,966	9,966	競技大会
マルチスペース	12,278	12,278	
貸館以外収入	27,388	55,448	
収入合計	104,310	171,346	

<パターン②利用料金を現県民体育館の利用料金の**1.5倍**とした場合>

(単位：千円/年)

収入費目	「するスポーツ中心」 時期	「する+みるスポーツ」 時期	備考
貸館収入	57,691	86,923	
メインアリーナ（興行）	29,436	61,509	プロスポーツ、音楽コンサート、MICE
メインアリーナ（県民利用）	11,572	8,731	競技大会、文化系イベント
サブアリーナ	7,475	7,475	競技大会
マルチスペース	9,208	9,208	
貸館以外収入	25,772	52,858	
収入合計	83,463	139,781	

支出費目	「するスポーツ中心」 時期	「する+みるスポーツ」 時期	備考
人件費	127,144	158,478	
維持管理費ほか	139,156	171,972	光熱水費、設備保守管理費、修繕費 ※木製床設置撤去費用含む
支出合計	266,300	330,450	

指定管理代行料	161,990	159,104	
---------	---------	---------	--

指定管理代行料	182,837	190,669	
---------	---------	---------	--

<試算結果>

- 収支見直しから、県の財政負担（指定管理代行料）は**年間1.6億円～1.9億円程度**が見込まれる
- 将来的な地元のプロスポーツチームの誕生を見据えたプロスポーツの試合の誘致や、MICE、音楽コンサートなどの開催を増やすことにより、収入増を図る
- 現時点では試算に見込んでいないが、プールでスイミングスクール事業を受け込む場合の収入や、トレーニングルームを設置する場合の利用料などの収入により、収支改善を図ることが可能と見込まれる
- 集客を増やすことで、露出効果を高め、ネーミングライツや広告掲出料などの貸館以外収入の増を図る

## 【経緯・目的】

- 令和7年12月に民間企業へ参画意向などを聞き取るサウンディング調査を実施（県内外の企業20社を対象）
- しかしながら、前回調査では配置案を一つに絞れていなかったことや、主に運営企業に対して、収支の見込み等を含めた全体像が不明瞭であったことから民間企業から具体的な意見や意向の聞き取りという点で十分でなかったものと思料
- 基本計画の概要版（素案）を公表し、整備案の全体像が明らかになった現在、再度サウンディング調査を行う

【実施期間】 令和8年3月11日～4月下旬

## 【対象事業者】

業種やエリアのバランスを考慮し、①建設②運営③維持管理④その他の業種合わせて計20社（地元企業、在京企業含む）

No	業務項目	業務内容
①	利用意向調査	● ニーズ調査でご対応いただいた企業を対象に、最新の施設計画案を提示し、利用意向を確認する。
②	サウンディング調査	● 事業手法に対して回答のあった企業を対象に、最新の施設計画案や上記①の利用意向調査結果を提示し、事業手法の総合評価に向けた論点についての条件や意向を確認する。
③	事業手法の総合評価	● 事業手法を決定するための総合評価のブラッシュアップを行う。 ● 各事業手法上の論点について、必要な資料を作成。

# サウンディング再調査の経過報告

- 3/19（木）時点で、利用意向調査を3件（8件中）、サウンディング調査を3件（13件中）実施しました。
- それらで得た意見のうち、主な調査項目に対するものを抜粋しました。

主な調査項目	利用意向調査（協会、団体等）	サウンディング調査（民間事業者）
<b>施設計画</b> フロアプランへの 所感や意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 来賓向けの控室があるとよい。</li> <li>• 駐車場に関して、整備できる容積にも限界があるなか、現在の規模から3倍に拡大し、かつ搬入車が乗り入れられるということであれば、<u>与条件の中では十分な計画</u>ではないか。</li> <li>• この規模の敷地において<u>すべての機能が両立できるものが不安</u>である。近隣の県有地を有効活用し、現有地に建て替える施設の余白を増やすことも視野に入れるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 資材ヤードの確保やアスファルト側の敷地への安全確保などが懸念事項となり、<u>施工計画上の制約</u>となり得る。</li> <li>• 最初の時点ではスケルトンに近い状態に留め、プロスポーツチームによる利用の目的が立ち次第追加工事するなど、<u>段階的に整備することも有効</u>である。</li> <li>• 施設竣工後の事業継続性を考え、<u>運営業務の担い手となり得る関係者の意向を入念に聞き取ることが必要</u>と思われる。</li> </ul>
（意向調査） <b>利用意向の有無</b> ／ （サウンディング調査） <b>PFI手法とするための諸条件への意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>降雨等により中止となるリスクを孕んでいるイベントや年々規模が大きくなってきたイベントの一部移行</u>させることが考えられる。</li> <li>• 予約枠も限られており機会を得づらい。</li> <li>• 集客を狙ったインドアスポーツの<u>プロ興行を誘致</u>していきたい。また、<u>アマチュアの大会などスポーツイベントでも積極的に活用</u>していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロスポーツチームが設立されておらず、<u>運営や採算に確証が持てない状況下では、運営会社とチーム組成することが難しい</u>。</li> <li>• 仮に<u>運営会社側からSPC組成への声掛けがあり、運営収支の見通しについて納得感のある情報開示があれば、PFI方式でも検討の俎上に載る</u>。</li> <li>• 建物の管理運営フェーズでは<u>運営等の事業者</u>に代表企業を交代できると、<u>役割分担に柔軟性が生まれ、参画を検討しやすい</u>。</li> </ul>
<b>その他</b> （要望等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Bリーグ基準での試合開催や音楽興行を念頭に、<u>音響機材や天井の吊り金具など、設備面での充実が重要</u>である。</li> <li>• 単なる早い者勝ちではなく、<u>全体最適を図れるような融通の利く予約システムを導入</u>してほしい。</li> <li>• 路面電車の臨時増便ができるよう、<u>県より交通事業者に対してはたらきかけ</u>してほしい。</li> <li>• 施設利用の誘致や稼働率向上に向けては、<u>運営企業単独ではなく、多様なステークホルダーが連携・協力</u>すべき。</li> <li>• 社会体育施設としての側面を維持しつつ、<u>観るスポーツのためのアリーナとしての魅力や効果</u>を損なわないことを望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 興行利用等を除いた残りの日数をどう有効活用するかは、アリーナ事業において重要な視点である。</li> <li>• 入札不調が相次いでいる<u>昨今の市場に見合った事業費の検討を要望</u>する。</li> <li>• 契約時点から着工までの期間における物価上昇に対し、物価スライドの適用による十分な配慮がされることを望む。</li> <li>• 地下駐車場について、掘削した際に、水の流入があると、<u>止水に時間を要して工期が遅延する</u>ことも考えられるため注意が必要である。</li> </ul>

## 大ホールの「大規模修繕」と「新県民体育館への機能集約化」の比較

項目	小項目	メリット	デメリット	
大規模修繕の場合	イベント主催者及び利用者	立地	・高速インターに近く、県内外から車で利用がしやすい。	・公共交通の便が悪く、学生など車が利用できない方は利用しにくい。
		利便性	・知名度があり、かつ、駐車場を含め搬入出時の動線が確保できる。	・修繕費用に応じた料金設定となるため、現行より利用料が高くなることが予想される。
	産振センター	収支	・安全に安心して施設を利用していただくことができ、従来の利用者の継続利用が期待できる。	・県等の助成がないと修繕費用を自主財源で賄えない。 ・修繕中の利用中止期間が長くなること、修繕後も一定の顧客が新県民体育館の利用に移行する可能性があり、収支が悪化する恐れがある。
		ものメッセ	・ものメッセ（県受託事業）の準備を含めたスムーズな運営が可能。	—
体育館への集約化の場合	イベント主催者及び利用者	立地	・交通の便がよく、学生など車を利用できない方の利便性が向上する。	・大型イベントの場合、準備期間も含め周辺道路が混雑することが見込まれる。
		搬入出	・搬入出時にアリーナ内部に直接大型車で乗入れが可能となる見込み。	・搬入出時の会場や出入口の混雑が懸念される。
		大型バス等の駐車場	・南中高跡地等への大型バスの待機スペースが確保できる。	・大型イベントの場合、南中高跡地のグラウンドを臨時駐車場として使うことが想定され、ピストン輸送をする場合は、主催者がその費用を負担することとなる。
	利活用	・音響等を使用するイベントの開催会場としての選択肢が増える。 ・中心市街地と一体となったイベントの開催が可能となる。	・スポーツ等他のイベントスケジュールによっては、予約が取りにくくなる恐れがある。	
産振センター	収支	・施設の管理委託料や修繕費用等の支出を抑えることができる。	・施設使用料収入の大半を占める大ホールがなくなるため、事業収支の更なる悪化も考えられる。	

## 第1回

「新県民体育館を核としたまちづくり」  
に関するワークショップの開催

高知市棧橋二丁目にある現在の県民体育館は老朽化し、建替の議論がされています。新しい県民体育館では、従来の競技大会やスポーツ活動だけでなく、プロバスケットボール（Bリーグ）などのプロスポーツの試合や音楽コンサート、大規模展示会などが開催できる規模・機能を備える計画となっています。

新しい県民体育館が誕生することで、高知市の中心市街地の街並みはどのように変わるか。未来の街の姿を思い描きながら、まちづくりについて一緒に考えませんか？

3/29

14:00~17:00

① 会場：オーテピア図書館 4階研修室

## 講師

高知大学 自然科学系理工学部門

坂本 淳 氏

(専門：都市計画、防災計画)



## 内容

- ① 新県民体育館整備の取組紹介
- ② まちづくりに関する講義
- ③ まちづくりに関するグループディスカッション

## 参加者

20名程度

(高校生、大学生、子育て世代、地域住民、市職員、  
観光・商工・交通関係者)



## 備考

1. ワークショップは全3回を予定しています。(参加者は3回とも出席できる方を想定しています)
2. 第2回は、5/16(土) 14:00~17:00を予定しています。
3. 第3回の候補日は7月の土日祝日のいずれかを予定しています。
4. 報道機関による撮影(取材)は、会の冒頭のみとさせていただきます。

お問合せ先

高知県スポーツ課  
担当者：大上(おおうえ)



088-821-4713

メール：rina\_ooue@ken4.pref.kochi.lg.jp

## 新県民体育館整備等基本計画の策定に向けた論点

### 【今後の検討会で議論する論点】

- 民間資本導入に向けたサウンディング調査の結果
- 整備・運営手法
- ちばさんセンター大ホールの機能集約化
- 財源の確保  
(公共施設等適正管理推進事業債、緊急防災・減災事業債、  
企業版ふるさと納税、クラウドファンディング等)
- 防災機能のあり方
- 賑わいづくり

(旧)

## 新県民体育館整備等基本計画検討会設置要綱

(目的)

第1条 新県民体育館整備等基本計画策定にあたり、整備運営、スポーツ振興、観光振興、まちづくり等に関して識見を有する者から意見を聴くため、「新県民体育館整備等基本計画検討会」(以下「検討会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 検討会の委員は、次の事項について検討し、意見を述べるものとする。

- (1) 基本方針に関すること
- (2) 機能及び規模に関すること
- (3) 施設の全体構成に関すること
- (4) 整備運営に関すること
- (5) その他検討について必要な事項に関すること

(組織及び委員の任期)

第3条 検討会の委員は、10名程度で組織する。

- 2 検討会の委員は、知事が委嘱する。
- 3 委員の任期は、委嘱の日から令和8年3月31日までとする。

(委員長、副委員長)

第4条 検討会に委員長を1名、副委員長を1名置く。

- 2 委員長は委員の互選により選任し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、検討会を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐するとともに、委員長に事故がある時は委員長を代理し、検討会を総理する。

(検討会の開催)

第5条 検討会は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、検討会の議長となる。
- 3 検討会は、委員の過半数の出席によって成立する。
- 4 第3条に定める委員が出席できないときは、当該委員が指名する者がその職務を代理する。
- 5 委員長は、必要があると認めるときは、検討会の委員以外の者に意見または出席を求めることができる。
- 6 委員長が必要と認めるときは、Web会議サービス(映像及び音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるものをいう。)を利用した検討会を開くことができる。

(事務局)

第6条 検討会の事務局は、高知県観光振興スポーツ部スポーツ課に置く。

(委任)

第7条 この要綱に定めのない事項については、委員長が定める。

附 則

この要綱は、令和7年6月6日から施行する。

新県民体育館整備等基本計画検討会設置要綱

(目的)

第1条 新県民体育館整備等基本計画策定にあたり、整備運営、スポーツ振興、観光振興、まちづくり等に関して識見を有する者から意見を聴くため、「新県民体育館整備等基本計画検討会」(以下「検討会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 検討会の委員は、次の事項について検討し、意見を述べるものとする。

- (1) 基本方針に関すること
- (2) 機能及び規模に関すること
- (3) 施設の全体構成に関すること
- (4) 整備運営に関すること
- (5) その他検討について必要な事項に関すること

(組織及び委員の任期)

第3条 検討会の委員は、10名程度で組織する。

- 2 検討会の委員は、知事が委嘱する。
- 3 委員の任期は、委嘱の日から新県民体育館整備等基本計画の策定の日までとする。

(委員長、副委員長)

第4条 検討会に委員長を1名、副委員長を1名置く。

- 2 委員長は委員の互選により選任し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、検討会を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐するとともに、委員長に事故がある時は委員長を代理し、検討会を総理する。

(検討会の開催)

第5条 検討会は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、検討会の議長となる。
- 3 検討会は、委員の過半数の出席によって成立する。
- 4 第3条に定める委員が出席できないときは、当該委員が指名する者がその職務を代理する。
- 5 委員長は、必要があると認めるときは、検討会の委員以外の者に意見または出席を求めることができる。
- 6 委員長が必要と認めるときは、Web会議サービス(映像及び音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるものをいう。)を利用した検討会を開くことができる。

(事務局)

第6条 検討会の事務局は、高知県観光振興スポーツ部スポーツ課に置く。

(委任)

第7条 この要綱に定めのない事項については、委員長が定める。

附 則

この要綱は、令和7年6月6日から施行する。

この要綱は、令和8年4月●日から施行する。